

患者さんへ

「2023 年日本透析医学会統計調査」

この研究は、通常の診療で得られた記録を使って行われます。

このような研究では、国が定めた指針に基づき、学術研究機関に情報を提供する場合には、対象となる患者さんのお一人ずつから直接同意を得る代わりに、研究の目的を含む研究の実施についての情報を公開することが必要とされています。

なお、研究結果は学会等で発表されることがありますが、その際も個人を特定する情報は公表いたしません。

1 研究の対象	(ア) 2023 年 12 月 31 日時点で、当該施設において慢性透析治療を受けているすべての患者 (イ) 2023 年以内に新たに透析治療を開始したすべての患者 (ウ) 2023 年以内に当該施設で透析療法を受けたが、死亡、移植その他の理由で透析療法を脱したすべての患者 (エ) 急性腎障害で透析治療を 2 ヶ月以内に離脱した患者は除外
2 研究目的・方法	一般社団法人日本透析医学会は、透析医療機関を通じて透析療法の現状に関するデータを収集しています。透析療法を受けている皆さまの性別、年齢、導入年月、原疾患、県名等が登録され、毎年の 12 月 31 日時点での治療方法や転帰、各種既往や検査データ等が蓄積されています。 こうして集められたデータをもとにした統計解析結果は、皆さまの透析治療の質を高めるために作成されるガイドラインや、透析医療にかかわる適切な保険診療設定、施設内での診療、教育にも利用されています。このように解析により得られた成果は、医学的側面だけでなく社会的側面からもわが国の透析医療の質の向上に大きく寄与しています。 統計解析は日本透析医学会の会員あるいは関連する研究者によって行われ、その研究内容については、日本透析医学会倫理委員会・理事会で承認されたものに限られます。 研究の期間：施設院長許可(2023 年 11 月予定)後～2025 年 12 月 31 日
3 情報の利用拒否	情報が当該研究に用いられることについて、患者さんもしくは患者さんのご家族等で患者さんの意思及び利益を代弁できる代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象としません。その場合は、「6. お問い合わせ先」までお申出ください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。ただし、ご了承頂けない旨の意思表示があった時点で既にデータ解析が終わっている場合など、データから除けない場合もあり、ご希望に添えない場合もあります。

4 研究に用いる情報の種類	透析療法を受けている皆さまの性別、年齢、導入年月、原疾患、県名等が登録され、毎年一回、12 月 31 日時点での治療方法や転帰、各種既往や検査データが調査されています。
5 研究実施体制	[情報の提供を受ける機関] 一般社団法人日本透析医学会 統計調査委員会委員長・花房規男 [情報を提供する機関] わが国で透析療法を行っている全施設 (別紙に対象施設一覧を添付) [外部への情報の提供] 当院施設長 (URL:https://www.skgh.jp)」 データセンターへのデータの提供は、特定の関係者以外がアクセスできない状態で行います。コード番号一覧表は、当院の個人情報管理者が保管・管理します。
6 お問い合わせ先	本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申出下さい。 研究責任者、照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先: 日高寿美 湘南鎌倉総合病院 腎臓病総合医療センター 神奈川県鎌倉市岡本 1370-1 電話番号:0467-46-1717

2023年11月1日作成(第 1.0 版)